

## 幹事

安部 弘行

市村会長がテーマとして掲げました  
想像から行動へ ～優しさ溢れる出会い（DEI）のクラブ～  
の実現に向け、各委員会の充実した活動が展開される様スムーズなクラブ運営に努力して参ります。

また今年は例年の事業に加え、「IM.」と「山形市内7RCコンペの開催」、さらに「山形市内7RC会長幹事会」の代表幹事と盛沢山の1年になります。

皆様のご協力とご指導どうぞよろしくお願いいたします。

## 会計

会 計 佐 藤 啓 副会計 山 科 宏 幸

これまでの収入と予算組を理解し、今年度の方針や活動に即した予算配分を行います。事業予算は、コロナ禍の中で大きな変化が予想されますが、適時適正な出納業務と予算管理を行い、適正な財政運営に努めます。

1. 会費の納入については納入期限を厳守願います。  
前期分 令和4年7月31日  
後期分 令和5年1月31日
2. 出納業務については幹事承認後の出納を原則とし、予算内での事業遂行に努めて頂きたいと思えます。
3. 支払い実行についてはなるべく迅速に対応させていただきますので、支払い請求に係る請求書または領収書は、その都度幹事宛に提出ください。

## S.A.A.

S. A. A.	戸田正宏	副S. A. A.	佐藤淳
副S. A. A.	長岡勲	副S. A. A.	平田智則
副S. A. A.	東海林仁	副S. A. A.	遠藤直樹

会長の基本精神「想像から行動へ～優しさ溢れる出会い（DEI）のクラブ～」を具現化するにはS.A.A.の力量が問われそうです。

会長から「凛とした緊張感と楽しさのある例会の環境づくり」を命じられましたので、緊張感の中にも楽しさを追求できるように努力します。

コロナ禍ですので、例会の持ち方も変則的になる可能性もあります。若い人を中心にSNSを駆使し、臨機応変に対処したいと思います。

いずれにしろ、例会に参加してよかったと言ってもらえるように、規律や厳しさよりアットホームな雰囲気を目指します。会員のご協力をよろしくお願いします。

# クラブ管理運営常任委員会

理事・常任委員長 遠藤 靖彦

クラブ管理運営は、ロータリー活動の根幹となる、例会に関わる大切な役割を担う委員会で構成されています。

例会の出席率を上げ、会員の親睦を更に高め、例会の内容を充実させるプログラムを作り、友好クラブとの親睦をはかる。

この活動を通して、更に山形西ロータリークラブの結束と交流を深めるべく1年間頑張ってください。

会員の皆様のご協力を宜しくお願い致します。

## 出席委員会

委員長	及川善大	委員	尾形亨
副委員長	早川徹	委員	酒井啓孝
		委員	高橋勝治

ロータリーの目的第一に「知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること」とあるように、例会への出席はロータリー活動で最も重要なことでもあります。

実出席者数にこだわり、メイク以外の出席者で70人参加を目標にします。

また、100%例会を年2回実現します。10月3日（月）の「ガバナー公式訪問例会」及び、12月5日（月）の「年次総会」は、100%例会にしたいと考えております。

さらに、My Rotaryへの登録を推進し、ロータリー活動を十分に知っていただくとともに、11月13日（日）開催予定の「地区大会」及び、2023年2月18日（土）開催予定の「I.M.」への参加呼びかけを行いたいと考えております。

会員の皆様に例会等への出席をしていただくために、委員から積極的にお声掛けをさせていただくとともに、状況によっては他の会員の皆様へのお声掛けをお願いすることもあるかと思えます。その時はご協力を頂ければ幸甚でございます。

## 親睦・家族委員会

委員長	長谷川 浩一郎	委員	飯田 喬之
副委員長	武田 良和	委員	大城 誠司
		委員	小山 陽
		委員	角田 浩二郎
		委員	堀野 卓美
		委員	服部 正
		委員	八柳 祐二

会員と会員家族の親睦が深まる安全で楽しい催しを開催します。

- |                |                         |
|----------------|-------------------------|
| ① 会員並びに奥様誕生日紹介 | 毎月第一例会                  |
| ② 奥様への誕生日プレゼント | 何種類からかお選びいただけるように考えました。 |
| ③ ビアパーティー      | 7月11日 パレスグランデール         |
| ④ クリスマス家族例会    | 12月19日 山形グランドホテル        |
| ⑤ 新年会          | 1月16日 パレスグランデール         |
| ⑥ 観桜会          | 4月18日 七日町屋台村            |
| ⑦ 最終例会         | 6月26日 パレスグランデール         |

## プログラム委員会

委員長	高橋 順弘	委員	中山 眞一
副委員長	角田 健	委員	福塚 一哉

例会への出席は、会員の大切な義務です。

それを促す事が出来るこのプログラム委員会は、大変やりがいを感じる委員会で、一生懸命頑張りたいと思います。

卓話者が例会参加者数のアップにつながりますので、出来るだけタイムリーで魅力ある講師を選定すると共に、企画を考えていきます。

ロータリーデー（近隣クラブと協力して、地域社会の人々に楽しみながらロータリーを知ってもらう）の開催。

会員卓話、ゲスト卓話、外部講師、移動例会と、変化に富んだ例会を計画しますので、会員の皆様のご協力をお願い申し上げます。

## 友好クラブ委員会

委員長	三浦達雄	委員	佐藤茂雄
副委員長	武田博文	委員	鏡武利
		委員	岡崎重知

コロナ禍により、友好を深めてきました高知南、金沢西、大津東ロータリークラブとも周年事業等を通じての交流が途絶えております。しかしながら、各クラブとも元気にお過ごしのことと存じます。そこで、次の周年事業計画や近況を伺いながら当クラブの状況などもご報告申し上げたいと思います。

また、感染状況を見ながらにはなりますが、職業交流委員会とも連携を取りながら、非公式な訪問（グルメ、ゴルフなどの目的）などは計画できないものかなども模索したいと思います。

## 会員増強常任委員会

理事・常任委員長 長 澤 裕 二

当常任委員会は、職業分類・会員選考委員会、会員増強委員会、ロータリー情報委員会の3つの委員会で構成されています。

山形県内最大の会員数を維持している当クラブの会員を増強し、維持するのが当常任委員会の目的です。

3委員会が協力して100名の会員数を達成して維持します。

## 職業分類・会員選考委員会

委員長 鈴木 浩 司 委 員 東海林 健 登  
副委員長 佐 藤 章 夫

### 職業分類

新しい時代に合わせ充填・未充填分野の内容を精査し分類表を整備します。

「充填・未充填職業分類表」を作成し、また見直しを行うとともに、新入会員候補の職業分類審査を適宜、理事会で協議して参ります。

### 会員選考

会員は、多様な分野からの入会を促進することが重要であると考えます。

クラブの細則に照らし合わせながら、新入会員候補の会員として適性であるかを検討し理事会に諮ります。

## 会員増強委員会

委員長 浦山 潔 委員 遠藤 栄次郎  
副委員長 横山 隆太 委員 平吹 和之  
委員 清野 伸昭

「会員増強は、常に組織活性化の基本、会員拡大は、継続的な活動」との会長方針に従い、次の3点を本年度委員会の活動方針と致します。

- 1 会員2名の純増、会員数100名を常に維持する。
- 1 会員を減らさない、退会させない！
- 1 全会員のご協力を得て、入会候補者リストを作成する。

本年一年間、強力なメンバーと共に宜しくお願い申し上げます。

## ロータリー情報委員会

委員長 海和 浩運 委員 武田 岳彦  
副委員長 遠藤 正明

市村会長が掲げられたクラブテーマ『想像から行動へ～優しさ溢れる出会い (DEI) のクラブ～』を念頭に委員会活動を行います。

今年度、当委員会の任務を次の3つとします。

1. クラブ会員に有益な情報提供を行います。また、クラブホームページに掲載する情報を広報委員会に提供し、会員に対し閲覧を呼びかけます。
2. 新入会員・西山会の会員にロータリー活動の理解を深めていただけるよう、しっかりサポートしていきます。また、新入会員・西山会会員を対象としたファイヤーサイドミーティングを年2回実施し、ロータリー活動の魅力や知識を深めていただきます。
3. 出席ゼロ会員に対しましても、スポンサーなどをおして情報の発信を行います。

## クラブ広報常任委員会

理事・常任委員長 後藤章洋

会長の方針として、クラブの魅力ある様々な活動を広く一般の方々に知っていただき、クラブのさらなる活性化に繋げていくということがあります。

情報発信ツールとしてのSNSは多岐にわたりますが、まずはそれぞれのメリット・デメリットや実際に発信する際の注意点などを理解しながら、各委員会が協力してその実現可能性を探ってまいりたいと思います。

## 会報委員会

委員長 石山茂利 委員 吉田昌弘  
副委員長 橋本徳光 委員 堀田稔  
委員 横沢善則

会報委員会では、会員相互のコミュニケーションの充実を図る為、例会・委員会等の活動を分かりやすく伝えていきます。

また、出席率の向上につながるよう、休んだ方や家族の皆様に楽しく親しみの持てる誌面作りに励みます。

事務局と連携を密にし、ホームページの見直しをかけ、更新し当クラブの活動を積極的に発信していきます。

## 広報雑誌委員会

委員長 武田秀和 委員 勝部一成  
副委員長 武田周治

- ・月1回のロータリーの友の見どころを例会にて紹介します。
- ・会報委員会と連携し、ホームページが更新された際にはその都度例会で紹介します。
- ・西クラブの活動を一般の方達に知ってもらうために、メディアへの取材依頼やメディア、SNS担当者への情報提供をします。

## 史料管理委員会

委員長 西谷真一 委員 長谷川浩二  
副委員長 高橋昌之 委員 小林恵一

70周年に向けての資料管理保存を行なって参ります。



# 職業奉仕常任委員会

理事・常任委員長 五十嵐 信

職業奉仕は、ロータリーの目的の大きな柱の一つです。  
RIでも年々重要度および注目度が増して来ているテーマです。  
最大級の会員数を誇る我がクラブは、このテーマから離れることなく65年間活動してまいりました。

クラブ会員が日々、事業の発展のため、真剣に、高い理想と倫理観をもって取り組んでいる姿こそが職業奉仕の実践とされていますが、当クラブにおいては全ての会員が、高いレベルで実践していると思います。

今年は、改めて、各会員がその事業、専門職において、最高の道德規範を保持し、相手のことを真剣に考え、誠実に尽くすことを実践することを強く意識できるようにすることを主眼に置いて、成果の高い事業を進めて参ります。

## 職業奉仕委員会

委員長	小野木 健 治	委 員	岡 田 宏 道
副委員長	後 藤 吉 伸	委 員	佐 藤 信 勝
		委 員	伊 藤 歩
		委 員	中 村 喜 陽

職業奉仕委員会は、職業奉仕を「職業人としてのロータリアンの務め」と理解し、職業を活かした社会貢献を実践している企業を皆様と共に学び、会員企業の「未来を描き、行動を呼びかけ、変化をもたらす」ための参考にして頂きたいと考えております。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

1. 持続可能な社会に向けて省エネや新規事業推進などに取組んでいる職場を訪問し、先進的事例を共有できる職場訪問例会を開催します。
2. 球風会や西風会、写楽クラブ、茶道同好会などの職業交流の場をサポートします。

## 職業交流委員会

委員長	高嶋俊幸	委員	佐藤充昭
副委員長	半田稔	委員	浦口太門
		委員	庄司時雄
		委員	池田将之
		委員	八鍬建三

職業交流委員会は、会員相互の交流を深めていただく事を目的に、下記日程にて球風会・西風会を企画させていただきます。

WITHコロナ時代を迎え、感染防止対策を図りながら、各種イベントの企画運営を進めていきたいと考えておりますので、会員の皆様からの多数のご参加をお願い致します。

また、今年度は7RC親善ゴルフコンペの競技会担当クラブとなっており、表彰式懇親会担当の山形北ロータリークラブ様と連携を図りながら、楽しい大会にしたいと考えております。

何卒、ご協力の程、よろしくお願い致します。

1. 令和4年9月23日（金） 球風会ゴルフコンペ 蔵王CC
2. 令和4年10月2日（日） 7RC親善ゴルフコンペ 蔵王CC
3. 令和5年2月～3月 西風会を予定
4. 令和5年5月14日（日） 球風会ゴルフコンペ 山形GC
5. 写楽クラブ・茶道同友会の企画や運営のサポート

# 奉仕プロジェクト常任委員会

理事・常任委員長 富田 浩志

当常任委員会は、社会奉仕委員会・ニコニコボックス委員会・青少年委員会の3つの委員会から構成されております。

市村会長の思いのある「社会の役に立つ社会奉仕事業」の検討と実行を行なって参ります。

社会奉仕委員は「樹氷再生」に向けて第一歩を踏み出します。また、山形県初となる、カモシカ救護所の支援所（保護リハビリテーション）をサポートします。

青少年委員会は、留学生の受け入れ、山形大学の若手研究者の支援を実施します。また、ロータリーアクトの理解を深め検討します。東南村山地区中学高校英語弁論大会を支援します。

これらの社会奉仕活動を活発に行うための財源となるのがニコニコボックスです。会員の皆様のご協力を宜しくお願い申し上げます。

ロータリー活動の大きな意義である奉仕活動を3つの委員会の連携の基、一年間推進して参ります。

宜しくお願い致します。

## 社会奉仕委員会

委員長	結城 和生	委員	細谷 伸夫
副委員長	坂部 登	委員	大沼 俊彦
		委員	鈴木 謙司

当委員会は、地域に住む人及び他国に住む人々の生活の質を高めるためのプログラムやプロジェクトを提案し実践することを目的とすると、当RC細則に明記されています。

市村会長のクラブ運営方針の提案に沿って、次の2つのプログラムを提案、実践することにしております。

- ①蔵王の「樹氷再生」へ向けての周知と活動。
  - ・ロータリーディへの取り組み
  - ・IMへの協力
- ②ニホンカモシカの実態周知とカモシカ救護所への支援

## ニコニコボックス委員会

委員長 渡 辺 隆 博 委 員 川 辺 智 之  
副委員長 新 藤 幸 紀 委 員 齋 藤 豪  
委 員 大 貫 良 一

ニコニコボックスは、会員の皆様からの自主的な心温まる善意のご寄付により、社会奉仕活動を活発に行うための財源になっております。皆様のご協力よろしくお願いいたします。

なにか嬉しいことや、おめでたいことがあった場合に、お祝い事をニコニコしながら披露することで喜びを分かち合い、会員同士の親睦を深めてまいりたいと思います。例会場を盛り上げ賑わせる数多くのニコニコ・ご寄付をお待ち申し上げます。

今年度もコロナの影響によりZOOM参加されることも予想されるため、昨年度から継続してFAXやメールのほかZOOMにての受付も致しますのでご活用ください。

ZOOM：ID 691 748 7705 パスワード 799532

FAX：023-624-5200

E-mail：yamagata-w09@rid2800.jp

## 青少年委員会

委員長 原 田 久 雄 委 員 小 松 公 博  
副委員長 佐 竹 耀 光 委 員 酒 井 政 輔  
委 員 小 林 廣 之

本年度の青少年委員会は、会長方針に基づき、次世代を担う青少年の育成並びに支援をして参ります。

### ○活動内容

1. 東南村山地区中学高校生英語弁論大会への支援継続
2. 山形大学若手研究者支援として、山形大学青少年育成事業の検討。  
新型コロナウイルス感染症により、ここ数年、実施に至っていないため、改めて支援事業を検討し、実施する。
3. 米山奨学会委員会と連携し、奨学生との交流機会の創出。
4. 山形ロータアクト（山形西、山形南、山形東、山形中央、山形イブニングの5つのロータリークラブで設立）に対する活動への理解と協力並びに支援。

# ロータリー財団・米山奨学会常任委員会

理事・常任委員長 吉田福平

市村会長のクラブ方針にありますように

ロータリー財団寄付目標 150ドル/一人当たり

米山奨学会寄付目標 15,000円/一人当たり

の目標達成に努めて参ります。

ロータリー財団は菅原委員長、米山奨学会は芦野委員長を中心に、国際間の理解と親善と平和の推進に繋がるような、活動ができればと考えております。

両委員会は、個人の善意の寄付による基金によって運営されており、単なる寄付集めの事業であると受け取られやすいので、「寄付」との認識から「貢献」との意識改革をするため、様々なプログラムを活用し、多くの会員の皆様が理解し、参加していただくことが、市村会長の今年度テーマ「想像から行動へ！」の達成に繋がると思っております。

どうぞ、ご理解ご協力賜ります様お願い申し上げます。

## ロータリー財団委員会

委員長	菅原茂秋	委員	千歳貞治郎
副委員長	武田元裕	委員	鈴木隆一
		委員	佐藤英一

ロータリー財団は100年以上も教育支援や持続可能なプロジェクトに資金を提供し世界の人々のために多大なる貢献をしてきました。世界的規模のポリオ撲滅運動や奨学生の派遣等はその典型例であり、コロナ禍においても災害補助金を授与する等、その貢献は顕著なものがあります。

このような取り組みをはじめ、実際に身近で実施されてきた補助事業を会員の皆様に紹介させていただき事業への理解を深めていただき、寄付の促進、目標額の達成に向けて取り組んでまいります。また、ロータリー財団月間の例会卓話にゲストスピーカーをお招きし、財団の使命や取り組みを理解していただく場づくりに努めてまいります。

※2800地区目標 年間一人当たり150ドルです。

会員の皆様には一人100ドルの特別寄付へのご協力をお願い申し上げます。

※ロータリー財団月間である11月に卓話実施予定です。

# 米山奨学会委員会

委員長 芦野 茂 委員 伊藤 義彦  
副委員長 酒巻 雅樹 委員 柴田 健一

2022年は、東京RCの古澤丈作氏が1952年「米山基金」の構想を発表して、70年という節目になります。

現在もその意思を引き継ぎ公益財団法人ロータリー米山記念奨学会は、勉学、研究を志して日本に在留している外国人留学生へ日本全国のロータリークラブ会員の寄付金を財源として奨学金を支給し、支援する民間奨学財団です。

その創設の目的は、日本が再び戦争の過ちを繰り返さないと誓いと、世界に“平和日本”の理解を促すことにあります。

奨学生が平和日本に出会い、お互いに信頼し合う関係を築き、「世界の架け橋」となる事を願って作られました。

今年度は米山奨学生を受け入れ世話クラブとして活動して参ります。

皆様には米山奨学事業をご理解頂けますよう卓話などでお伝えして参りたいと思います。

この趣旨に基づきましてこれまで同様一人15,000円を目標とし特別寄付10,000円をお願い申し上げます。